

K-RIP環境エネルギーセミナー 開催報告

～企業の環境エネルギービジネスへの展開のために～

■九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(以下K-RIP)は、平成25年2月12日、福岡市(ホテルセンラーザ博多)において「K-RIP環境エネルギーセミナー」を開催しました。

当日は、「環境エネルギー分野」での新たな事業展開や販路拡大に取り組む企業や関係機関などから100名を超える参加者があり、環境エネルギービジネスの第一線で活躍されている有識者による、国内外での取組などに関する講演や、講演者と参加者によるビジネス参入への課題・解決などについての意見交換で、会場は終始熱気に包まれました。

■K-RIPからは、昨年6月に設置した「K-RIP環境エネルギー戦略会議(産学及び関係経済団体の委員16名)【別紙1参照】」における、ビジネス課題解決のための実践活動及び成果等の報告を行うとともに、25年度以降の企業の取組の視点やK-RIPの取組(支援)の視点に係る「同戦略会議の提言」についての報告等を行いました。【別紙2参照】

満席の会場風景



東京工業大学柏木教授による基調講演



↑ 東京工業大学特命教授柏木孝夫氏による基調講演「新たな環境エネルギー産業創出と今後の環境ビジネス市場の展望」

●今後の電力系統を展望したエネルギー戦略やスマート技術との融合などを背景に、関連する様々なアプリケーション市場の拡大、新たな環境エネルギービジネスなど地場企業に密接にかかわる幅広い講演をいただきました。



↑ 北九州市環境局松岡理事による講演「北九州スマートコミュニティ創造事業とアジア低炭素化センターの現状と今後の展開」



↑ (株)キューヘン 小山田取締役事業開発本部長による講演「環境エネルギー分野への取組」



←(株)宮防 萩原新規事業部営業部長による講演「遮熱塗料による畜産暑熱対策実証試験の成果(経済産業省補助事業)」



←(株)タカフジ 川邊事業開発部室長による講演「無電極照明LVIを使用した工場施設における省エネ効果と必要光量の実証実験(経済産業省補助事業)」



主催者挨拶をするK-RIP 鶴田会長



来賓挨拶をする茂木九州経済産業局資源エネルギー環境部長



セミナーコーディネータを務めたK-RIP吉田副会長



北九州市立大学松本教授による講演「K-RIPの環境エネルギー分野への新展開」

24年度、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)は、環境エネルギー分野のビジネス創出に向けた具体的な支援方策などを検討・実践するため、当分野の域内を代表する産学及び政策支援機関で構成する「環境エネルギー戦略会議」を設置し、2回の会合を開催しました。

K-RIP環境エネルギー戦略会議委員 (敬称略)

NO	企業(団体)名	委員氏名	役職	エネルギー関係 カテゴリー
1	(株)キューヘン	真武 秀和	企画部 参事	革新的エネルギー高度 利用技術等
2	昭和鉄工(株)	福田 俊仁	執行役員 総合開発 部長	
3	(株)西部技研	岡野 浩志	取締役 技術開発 本部長	
4	(株)ワイビーエム	吉田 哲雄	代表取締役会長	
5	(株)正興電機製作所	松尾 聡	取締役 事業開発 本部長	省エネ・新エネ制御技術 等
6	(株)安川電機	山田 達哉	インバータ事業部 環境エネルギー機器 事業統括部長	
7	西日本環境エネル ギー(株)	須賀 信明	新規事業推進部長	総合省エネ・新エネ
8	NPO法人エコ診断 ネットワークジャパ ン	藤原 洋記	理事	コンサル等
9	環境テクノス(株)	鶴田 暁	代表取締役	
10	(株)九電工	今岡 浩司	エコ事業推進本部 エネルギー事業部長	建築・電機・空調等プラ ントエンジニアリング
11	空研工業(株)	成清 重信	取締役 海外部長	
12	楽しい(株)	松尾 康志	代表取締役	バイオマス
13	戸畑共同火力(株)	川崎 順一	代表取締役常務	卸供給事業
14	九州経済連合会	箴島 修三	産業第二部長兼 環境部長	政策支援機関
15	福岡商工会議所	井原 隆博	商工振興本部 経済部長	
16	公立大学法人 北九州市立大学	松本 亨	国際環境工学部 環境生命工学科教授	

研究会開催風景



座長 (株)ワイビーエム
吉田会長



副座長 北九州市立大学
松本教授



環境エネルギー戦略会議
開催風景



九州三井アルミニウム工業(株)
牧嶋氏、森田氏(国内クレ
ジット活用の先進的取組)



(株)正興電機製作所
(東京ガスと共同開発し
た「エネファーム停電対
応システム」報告)



(株)宮防 萩原氏
(先導的・試行的事業報告)



(株)タカフジ 川邊氏
(先導的・試行的事業報告)

K-RIP環境エネルギー戦略会議の実践事例

九州地域の企業の固有の強みを活かした環境エネルギービジネスの促進

▶(1) マッチングの場の創設

「九経連、福岡商工会議所、省エネセンター等域内政策支援集団と連携したビジネスマッチング」及び「びわ湖環境ビジネスメッセでの出展・プレゼンの強化」並びに地域間広域連携マッチング事業の活用

※<実践の一例>アライアンスマッチング(地域間広域連携)事業の推進

全国各地域の政策支援機関のコーディネーターが連携し、広域的な出展、プレゼン、商談等を通じ、ビジネスパートナーの発掘・マッチングを支援。

▶(2) ビジネスモデル検討

ビジネスモデルのコア技術の実証・育成及び戦略会議メンバー相互のビジネスモデル構築並びに国内クレジット制度や25年度各省の支援事業を活用したビジネス創出の検討

※<実践の一例>K-RIP会員企業による「24年度先導的・試行的事業(イノベーションを加えたビジネスモデル)」の活用

24年度補助事業を実施中の2社((株)タカフジによる「屋外作業環境における省エネ型照明(高効率長寿命無電極プラズマ灯)の実用性の実証」及び(株)宮防による「畜産業の遮熱対策に向けた遮熱塗料の実証」)の成果等のビジネス展開について、各委員からニーズサイドへの提案のあり方(カスタマイズの方向性)等貴重なアドバイスを提供。

▶(3) 海外展開

山東省ミッションを通じた連合体形成等の取組や課題の検討及びマレーシア調査ミッションの開始

※<実践の一例>K-RIP会員企業と山東省企業とのMOU等を参考に環境エネルギー分野での企業連合体の形成や海外展開を検討

K-RIP環境エネルギー戦略会議からの提言

25年度以降の企業の取組の視点

▶環境エネルギーを取り巻く状況は大きな変革期。企業の生産活動において、環境エネルギー分野の新たな商品・システム・サービス等に対する市場のニーズは高い(省エネとピークカット等)。ビジネス創出には、複数のシステムの組み合わせ、技術の補完等により、市場ニーズに対応することが重要。その際、産学連携や異業種との連携が有効。

25年度以降のK-RIPの取組(支援)の視点

▶市場ニーズへの機敏な対応と新たな市場創出を図るため、①同業・異業種との連携強化、②九州域内にとどまらない、他地域との広域連携、③九州経済連合会、ニュービジネス協議会、福岡ベンチャーマーケット、金融機関等他機関との連携、さらに④大企業の取り込み、⑤質の高いマッチング事業の企画・実施等が重要。

▶海外への事業展開については、今後は、ASEAN地域への進出に向け、一層の市場獲得へ向けたビジネス戦略も必要。

▶K-RIPでは、こうした視点を踏まえ、情報の収集・発信力アップ、マッチングやコーディネートを実践するとともに、FS・実証などを積極的に活用したビジネスモデルの創出に繋がるよう、フォローアップからそのフィードバックまでを行っていくことが重要。